



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 99号 2010.7.14 発行 社会政策研究所

=====

キャリアブレインから第 16 回障がい者制度改革推進会議関連の 3 つのニュースを届け  
します。

障がい者制度改革推進会議の第 1 次意見が閣議決定に採り入れられ、そのスケジュール  
通りに改革が少しずつでも前に進んでいくことを期待します。しかし、第 1 次意見に十分  
盛り込まれなかったことがらで重要なことがいくつもあります。教育の分野、司法との関  
係、女性の問題、表記の問題など、今後の障がい者制度改革推進会議の審議に期待されま  
す。また、第 1 次意見書をもとにした各地での「討論会」も当事者参画の貴重な機会とな  
ります。政争や政局ではなく、障害者やその家族、支援者、また、サービス事業者などが  
置かれている現実からの議論を期待したいところです。【kobi】

### 冤罪や性的虐待防止を議論—障がい者制度改革会議

2010年07月12日 キャリアブレイン

内閣府は 7 月 12 日、「障がい者制度改革推進会議」の第 16 回会合を開催した。障害者の  
冤罪事件や女兒の性的虐待について有識者からヒアリングしたほか、女性特有の問題と解  
決策について議論した。

大石剛一郎弁護士は、2004 年 8 月に宇都宮市で起きた知的障害者の冤罪事件などを例に、  
知的障害のある人は意思表示が困難な場合もあるため誤認逮捕されやすいと指摘。宇都宮  
事件は氷山の一角で、司法機関は意思表示が難しい障害者にも配慮した対策が必要である  
とした。

障害者の性的虐待については、黒岩海映弁護士が、学校、特に小中学校の被害対策が遅  
れていると指摘。知的障害のある小中学生の性的被害率が、健常者に比べて高いことから、  
実態調査の実施やそれを考慮した制度改革の必要があるとした。そのほか、精神障害者の  
虐待防止などが報告された。

また、13 人の委員から障害のある女性についての意見が出された。性的虐待や就労機会  
の不平等などの問題が挙げられたほか、「障害者という表記ではなく『障害のある男女』と  
すべき」(アジア・ディスアビリティ・インスティテート代表の中西由起子委員)などの意  
見もあった。

### 新委員会設置の文科省に要望書—障がい者制度改革会議

2010年07月12日 キャリアブレイン

内閣府の「障がい者制度改革推進会議」の委員有志はこのほど、文部科学省が新たに設  
置する障害者制度関連の委員会について、同会議との連携などを提案する要望書を、川端  
達夫文科相あてに提出した。障害者制度の抜本改革を目指す同会議に連絡がなかったため、  
今後、各省庁の新制度設立や議員立法などで同様のことがないようけん制することが目的。

要望書は 7 月 9 日付で、委員 15 人の連名で提出された。文科省の中央教育審議会初等中

等教育分科会に新たに設置される委員会が、特別支援教育のあり方などを議論するため、同会議との連携のほか、同会議の委員数人を文科省の新委員会の構成員にするよう求めている。

一方、要望書の提出について、同会議の委員からは「(各省と同会議の)連携について議論がまだ深まっていない段階でいきなりペーパーを出すのはどうか」などと否定的な意見もあった。

### 「障害」の表記で作業チーム設置－障がい者制度改革会議

2010年07月12日 キャリアブレイン

内閣府は7月12日に開催した第16回の「障がい者制度改革推進会議」で、「障害」の表記に関する作業チームを設置することを決めた。

この表記についての議論をしやすくするために、検討事項の整理を行うことが目的。作業チームのメンバーは5人で構成し、有識者からのヒアリングを通じて、幾つかの表記案についてのプラスとマイナスの両面を整理する。

有識者は放送や新聞の団体などのメディア関係、作家らが加盟する団体などを想定。また、こうした表記について積極的に発言しているその他の団体や関係者からのヒアリングも検討する。

ヒアリングは、9月中旬から10月中旬にかけて行い、11月中旬には障がい者制度改革推進会議にその結果を報告し、同会議は報告書となる「第二次意見」に「障害」の表記に関する見解を盛り込む方針。

たまには太陽の子・手をつなぐ、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行